

平成24年度 第1回学校評議員会の記録

岐阜県立瑞浪高等学校

学 校 長 杉 山 英 一

学 校 住 所 瑞 浪 市 土 岐 町 7 9 4 2 電 話 0572-68-4161

- 1 会議の名称 平成24年度岐阜県立瑞浪高等学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|---------|--------------|
| 委 員 | 大久保 義弘 | 土岐地区栄町区長 |
| | 各 務 和 子 | みどり保育園園長 |
| | 平松 喜代江 | 中京短期大学部 専任講師 |
| | 本 荘 敏 子 | 主 婦 |
| | 若 林 宏 樹 | J R瑞浪駅 駅長 |
| 学校側 | 杉 山 英 一 | 校 長 |
| | 藤 沢 文 雄 | 教 頭 |
| | 藤 木 将 | 事務長 |
| | 伊 藤 芳 博 | 教 諭 (教務部長) |
| | 加 藤 元 規 | 教 諭 (生徒指導部長) |
| | 谷 口 朋 子 | 教 諭 (進路指導部長) |
| | 田 内 香 織 | 教 諭 (生活産業部長) |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や保護者等から幅広く意見を聞き、地域住民からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成24年6月28日(木) 13時10分～15時 本校校長室
評議員5名と学校側7名が出席
- 5 会議の概要
- (1) 校長挨拶
 - (2) 学校評議員の委嘱
 - (3) 授業参観
 - (4) 学校の現状と課題(教務部、生徒指導部、進路指導部、生活産業部から説明)
 - (5) 授業参観の感想
 - (6) 本校に望まれること
 - (7) その他

ア 校長挨拶

- ・ 本校は、来年度創立90周年を向かえる伝統校ではあるが、課題も多い。外部の方から、ご意見をいただき、今後の学校経営に生かしていきたい。
- ・ 1年生が184名入学し、新年度がスタートしたが、全体的に落ち着いて学習している。
今月は来客が多く、東濃地区の高校に新規採用された教員の研修や、中学校の先生との交流会が本校で行われたり、土岐市立の中学校の母親委員会の学校訪問があったりして、

6月だけで70数名の方に来校いただいた。本校の理解者となっただけという意味でありがたい。

- ・ 生徒の活躍としては、瑞浪市主張大会で2年生の女子生徒が最優秀賞を受賞し、司会進行も本校の生徒が立派に行ってくれた。また、MSリーダーズ活動の地道な活動が認められ「小さな親切運動実行章」を受賞するなど、生徒達も頑張ってくれている。
- ・ 現在校舎が、一昨年の耐震工事に続いて外壁の塗装工事、屋上の防水工事とトイレの改修が行われており、その工事も8月に完成します。また、育友会と同窓会のご理解によって、全教室と学習室に空調設備が設置され、7月から運用を開始するなど、教育環境も整ってきた。

イ 授業参観の感想及び本校に望まれること

- 意見1
- ・ 私が想像していたより真剣に授業に取り組んでいた。
 - ・ 授業科目によって、取り組み方に、大きな違いがあるように感じた。
 - ・ 進路担当からの説明の中で「進路を決める段階で、自分の能力がつかみきれていないのが問題」と言われた。バブル崩壊後から少し経ち、生産部門で、工業高校出身の生徒を即戦力として採用したが、「大卒の社員には負けない。」という意識が強く、なんとなく入社してきた大卒社員とは意識に大きな違いがあった。自分の能力が分からずに就職する生徒へのケアをどうするかが課題である。
- 意見2
- ・ 5時間目という眠くなる時間にもかかわらず、熱心に授業を受けていた。
 - ・ 少人数の授業では、気軽に先生に質問できる雰囲気があり、良い感じで授業が進んでいた。
 - ・ 生活福祉科では資格取得に力を入れているということですが、生徒が自分に自信を持ち「生まれてきて良かった。」と思えるように、資格取得に取り組めると良い。
 - ・ 瑞浪市の保・幼・小・中一貫教育、地域連携で年3回「朝の挨拶運動」の交流を実施している。瑞浪高校と瑞浪中学とも交流・連携をしたらどうか。
- 意見3
- ・ 大学生に携わっている者としての意見。今の大学生は学習する習慣ができていない。授業中に気になることは「じっと座ってられない。」「思ったことをすぐ口にする。」「黒板は、指示がないと写せない。」など。
それに比べると瑞浪高校の生徒は、挨拶がしっかりとでき、身だしなみもしっかりとしていて、授業を受けるマナーも良い。
 - ・ 教員も、黒板を上手に使い、大きなハッキリした声で授業をされていた。
 - ・ 校舎がきれいで、掃除が行き届いていると感じた。生徒によっては、机の中が整頓されていなかった。机の中をきれいにさせて学習に向かわせることも大切である。
 - ・ 高校ではこのようにしっかりと勉強しているのに、大学では授業への集中力に欠ける。大学と高校の「学びの連携」の必要性を感じた。
- 校長
- ・ 高校でも同様に、中学校で身に付けてきた「学びの財産」をさらに伸ばすために中高の連携が必要だと考えている。

意見4 ・ 子どもが瑞浪高校出身であり、ずいぶん前のことで、今は高校生とかかわる機会がなく、通学途中や駅で見かけるだけである。駅で見ていると、階段の地べたに座ってしゃべっていたりする生徒はいるが、派手な化粧の生徒は減って瑞浪高校生に対するイメージは良い。

意見5 ・ 一回、授業を参観しただけでは何ともわからない。
・ 6年間、社員教育に携わったが、給料をもらって働く者として新入社員研修には厳しく取り組んできた。
先生達の指導が生徒に大きな影響を与える。通学時のマナー等の指導をしっかりお願いしたい。

6 会議のまとめ

「授業改善」や「授業規律指導」などに全職員の共通理解のもとで取り組んできた成果が少しずつ出てきており、生徒が授業を落ち着いて受けている様子を参観していただけた。

「自分の意志を話すことが、上手にできない若者が多い。」とのご意見もあり、「話す力」「コミュニケーション力」を身に付けさせる指導を、さらに充実させたい。